

審査員特別賞

「 図書館利用で学生生活をおトクに！ 」

公共学科 3年 かみやまひろ (P.N.)

私が“利用したくなる“と考える図書館は、自分の手に取った本の評価や感想がわかったり、図書館で本を借りたり、利用することでの特典があったりなど、副次的なサービス展開があればもっと利用したいと思う。図書館は静かで非常に集中できる空間として、確かにそれだけでも十分なブランディングであると思うが、大商大にはリアクトや 6 号館一階などがあり、図書館とほぼ同じ環境が用意されているため、学生が作業場所選びするときには「図書館も選択肢の一つ」となることが現状であると思われる。そのため、図書館にしかない「本」を活かしたサービスを考えることが図書館利用者を増やすことができ、かつ学生に本を読んでもらうきっかけとして機能すると考える。

私が考えたアイデアで、まず一つは『本にレビューをつける』ということだ。最近ではコロナ禍であることも手伝ってより通販を利用する機会も増えたと思うがやはりモノを手にとった時に気になる点は他人からどのような評価を得ているかである。本も同じで他の人が借りた時のレビューがつけられていれば実際に借りるかどうかの判断が格段にしやすくなると思う。図書の選択理由をレポートなど参考文献として利用・読書・その他で分け、50字以上ぐらいでレビューしてもらえれば感想としては十分だと思う。参考文献で選んだ場合などは参考にした部分も書いてもらえれば、後で同じようにレポートを書く人にとってそこから有効なヒントを得られるかもしれない。二つ目は、レビューをしてもらえるようにするためのアイデアでレビューするごとに購買や食堂などで利用できるポイントをつけることである。レビュー1つにつき 10~20pt で 1 ポイント=一円で利用できるようにすれば学生にとってはかなり嬉しい特典になると考える。さらに図書館側で面白いレビューなどあれば取り上げて、取り上げられればさらにポイント加算というのもいいかもしれない。

これらのサービスがあれば 4 年もある大学生活をおトクに充実させられると考える。